

中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル 用語集

No	用語	意味
1	オープンデータ	<p>国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用(加工、編集、再配布等)できるよう、次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータをオープンデータと定義している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの 2. 機械判読に適したもの 3. 無償で利用できるもの
2	ラウンドテーブル	<p>地方公共団体が保有するデータのオープン化への取り組みを加速し、中国地域のオープンデータの利活用推進を図るため、「議論する場＝ラウンドテーブル」を設置。</p>
3	レビューボードメンバ	<p>テーブルメンバが議論した結果を総合的に判断して、ラウンドテーブルの結論として公開する役割を担っている。</p>
4	テーブルメンバ	<p>本活動の成果物である「実現したいこと」「推奨テンプレート」「データセット」についてラウンドテーブルの場で議論する役割を担っている。 また、メンバには、大学等有識者、中国地域5県及び2政令市等の団体が参画する。(詳細は「報道資料」を参照) なお、必要により昨年度の豪雨災害により大きな被害があった自治体の参画も考えている。</p>
5	全国版ラウンドテーブル	<p>「民間企業等のニーズに即した府省庁等のオープンデータの取り組みや民間データとの組み合わせを含めた活用を促進することで、データの価値向上と多様なサービスの出現に貢献する」ことを目的として設置。(事務局:内閣官房IT総合戦略室)</p>
6	中国情報通信懇談会	<p>昭和60年9月に「中国ニューメディア懇談会」として、産・学・官及び個人が結集して発足以来、中国地域におけるニューメディアの普及と情報化に寄与するため活動してきたが、平成13年4月に「中国情報通信懇談会」と改称し、情報通信の基盤整備、コンテンツの流通、人材育成など中国地方のICT推進のため活動を行っている任意団体。</p>
7	推奨テンプレート	<p>データを読み込み、伝達すべき情報をマップ上に効果的に表現する等のツール。 例えば、「時間帯別滞留人口×災害ハザードマップ」、「土地利用×災害ハザードマップ」、「地区防災計画にもとづく避難経路案内」など可視化できるアプリ等。</p>
8	データセット	<p>オープンデータの公開とその利活用を促進するため、オープンデータに取り組み始める地方公共団体の参考となるよう公開することが推奨されるデータ及びフォーマット標準例をとりまとめたもので、データ項目を絞り込んだ上で、区分(必須、任意など)やデータの形式等を設定するなど、可能な限り項目等をそろえる形でデータ項目を定義するもの。</p>